

なおみの
さわやか
エッセー



断捨離衝動

いらないもの、部屋を雑然とさせているものを一気に処分して片づけたい衝動に駆られる時が、年に何回かあります。我が家は、夫婦そろって仕事柄、紙資料がとて多くなりがちです。けれども、この紙資料、部屋がとて雑然とちらかって見えて厄介です。

もともと物の少ない家でくらししていたせいも、部屋の中によけいな物が出ているのが落ち着かない性分の私。しかし、夫はそういうことが全く気にならないらしく、私の価値観を一方的に押し付けるわけにもいかず。普段は、我慢しているのですが、疲れやストレスがたまってくると、部屋が雑然としている状態に我慢ができず、「うーっ、ここにあるぐちゃぐちゃした物、全部捨ててしまいたい、すっきりしたい」となります。

実際には、全部捨ててすっきりしたことは、この10年ないのですが。いつか、いつか、と思いつながら、断捨離衝動との戦いは、まだ続きそうです。



和泉都議 文書質問に都が回答

- ・学校プールと消防水利について
- ・西新小岩スーパー堤防と内水氾濫

和泉都議は去る2月の予算都議会で「水泳教育の意義と学校プールの重要性について」「中川の荒川と並行している区間の左岸における堤防強化について」の二つの問題での文書質問を提出していましたが、このほど都から回答がありました。

「消防水利として重要と認識している」

このうち学校プール問題 葛飾区が学校プール廃止方針を打ち出して多くの区民の反対の声があがっている状況に対して一石を投じるものです。

あると認識している」と回答がありました。

0³mの容量をもつ学校プールは消防活動において重要な水利だと思いが、消防庁の見解を伺う」という質問に対して、消防庁からは「震災時には常時貯水された水利が必要であることから、防火水槽や学校プールなどのほか河川等の消防水利は重要で



雨水のポンプアップ

「超過洪水発生の際は国と調整」

また、区内西新小岩地域の木ポンプ所の三施設から排水を行ってしています。超過洪水の発生が迫っている場合におけるポンプの運転については河川管理者（つまり国）と調整するなどにより適切に対応します」と回答するに

中川左岸をスーパー堤防化するという国の計画が、従来の計画規模を上回る超過洪水の越水を前提にしていることを踏まえて

「荒川において超過洪水の迫っているときに（内水氾濫対策として）下水道からポンプアップして雨水を河川に排水することは可能なのか」という質問に対して、都は「内水氾濫を防止するため荒川には小管水再生センター、梅田ポンプ所及び熊ノ

超過洪水を口実に住民が反対するスーパー堤防を強行するのなら、内水氾濫対策などの整合性もとめられます。国や都の責任ある対応がもとめられます。」

和泉なおみの

幹事長日誌



7月7日 水
五輪中止・子どもの動員中止を求める申し入れ

7月8日 木
専決処分をせず臨時議会開催を求める申し入れ
新型コロナウイルス連絡調整本部会議

7月10日 土
三郷市議選への応援

7月15日 木
臨時都議会に向けた事前協議会
野党会派協議

7月17日 土
東京都税理士後援会総会でありさつ

7月19日 月
野党会派協議

7月21日 水
議長・副議長 退任あいさつへの応対

東京五輪開催に関する東京都ならびに組織委員会に対する公開質問状への回答について記者会見

7月23日 金
世話人協議会・代表者会
臨時議会

臨時議会招集に関する要望を知事宛に提出

7月27日 火
横田基地への6機目のCV-22オスプレイ配備中止を求める申し入れ

7月29日 木
新都議会議員と葛飾区長の意見交換会



日本共産党都議会議員

和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2021年9月8日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所 和泉なおみ事務所